

令和3年度第2回三郷市立児童館運営協議会

開催日	令和4年2月24日(木)
開催方法	書面開催
意見等回答期間	令和4年2月17日(木)から3月7日(月)
報告事項	1. 会長及び副会長の選出について 2. 令和3年度前期(4月～9月)事業報告書について 3. 令和4年度事業計画書(案)について 4. 令和3年度前期モニタリング評価報告書について
委員氏名 (意見書等提出者13名)	北澤 富美、岩間 かおり、徳永 順子、斎藤 千秋、榎本 美穂、濱松 紀子、井上 直美、高鹿 祐子、川口 奈津美、 櫻井 早希、小柴 彩、佐藤 明美、大河原 正行

報告事項

議 事

1. 会長及び副会長の選出について

会長 北澤 富美 副会長 濱松 紀子

【表決】 承認：13 反対：0

【ご意見等】 なし

2. 令和3年度前期(4月～9月)事業報告書について

【表決】 承認：13 反対：0

【ご意見等】

- ・コロナ禍で変更や中止にしなければならない事が多くあった中で、昨年度よりも利用者が増えた事を喜ばしく思う。
事業によっては利用者が「0」もあり、今後は改善が必要なものもあったが、新たなオンラインでの活動などに取り組まれた点は良かった。
- ・今年度上半期もコロナウィルス感染予防の為に中止になってしまった事業も多かった中、前年度にできなかった事業を、制約はあるものの対策を工夫しながら実施されていて良かった。
- ・娘が北児で「春休みスペシャル」の紙コップ貯金箱づくりと「みんなでギリシャを応援しよう！」に参加させてもらった。
事前の説明も分かりやすく幼児でも簡単に取り組んでいた。
- ・どの児童館の先生方もコロナ対策をしっかりした上で、最大限子ども達や親子で楽しめるように工夫していることがよく分かった。

オンラインで事業をしたり、開催時期を例年より遅らせることで、しっかりと事業の告知や対策をとれていていいと思った。

例年と違う為、苦労した部分や残念な部分もあったようだが、反省を踏まえて次回に活かせるように考えているようなので、楽しみにしている。

(例：北児…春休みスペシャルの話し合い不足、南児…みなみこども委員会、早児…5月の折り紙で遊ぼうなど、もう少し事前の告知や準備などができたら内容は面白そうなので、どうなるか楽しみだ。)

- ・各児童館、前年度のコロナ対策の経験を活かして、分散利用や予約制、消毒タイムを設けるなど、安心して来館・利用出来る対策が取られており、来館者数の増加に繋がっていると思う。何より、子どもたちが集える場であり楽しみにしている行事を、安易に「中止」にはしないという職員の皆さんの強い気持ちと努力に感動した。
- ・新企画の「Kita★Café」や「移動児童館」は、児童館の利用者の年齢層や地域を広げる役目として、今後、期待される事業だと思う。次年度ではこの事業を広くPRし周知することが必要かと思う。
- ・まだまだ続くコロナ禍の中、様々に工夫を凝らして活動を実施されていて大変さが伝わってきた。3密を避ける座席の配置や、こまめな消毒のお陰で安心して利用することができた。
- ・コロナ禍において対策を考えたり、できそうな企画を考えたりして運営され、本当に大変だったと思う。そのような中でも「楽しそう。行ってみたい。」と思えるような企画がたくさんあり、その結果、市民の方の利用も昨年に比べ増えて良かったと思う。
- ・コロナ禍も2年目ということで、各児童館の職員の方々も利用者も、少しずつ慣れてきたのではないかと思う。各児童館、本当に工夫と努力の事業を計画、準備されているのがわかる。実施できるか分からない場合の苦労も感じる。昨年同様に各児童館では、感染対策はしっかりしていて、子どもの各年齢に応じて人数制限をしながら実施している。苦労して準備しても参加者が少なかったりする事業もあるようだが、コロナに対して控える意識が高い利用者も多いので、仕方のないことかと思う。
- ・利用者人数が昨年より増えている事が良かったと思う。感染対策をしながら行える事業が増えていて、児童館の方々の工夫があってこそだと感じる。
- ・コロナのために密になりやすいもの、またマスクを外す必要があるものは中止になり、お料理を友達と作ったりするのを楽しそうだと思っていた子やボールプールが大好きな小さな子どもたちなどにとっては残念だったかもしれない。
- ・チャレンジ企画の充実や、季節・イベント毎で利用者が多いように、「特別な体験・経験」をみんな求めているのかなと思った。チャレンジ企画は毎回楽しそうな企画で競い甲斐があり、また、上位者には景品があるなどで友達と一緒に楽しく挑戦できるものだと思う。
- ・人数制限はあれど開催された南児童センターのおおけ屋敷に参加することができたのだが、ひとり1回しか参加できなかったのが残念だった。折角、大掛かりに準備していたので、2回くらいは入らせてあげたいと思った。一度に入れる人数も2人だったので、2回目は違うお友達と、とか、1回目は家族と、などの子もいるかと思えます。ずっと楽しみにしていたので、親の分を子どもに渡して入らせてあげたいという申し出もNGで残念でした。更に入りたければ入れないお友達も多く、1回しか入れない中、75分という長い時間ずっと居るには少々飽きるので、時間を待たずに外に出たが予約できなかったが入りたい！親は教えてくれなかったが当日行くお友達の話聞いて自分も行きたい！という子たちのために、出た人数分を入れてあげてもいいんじゃないかと思った。人数の管理に時間を割くこともスタッフさんの人数の関係で難しいのかもしれないが、かなり問合せが多かったと書かれていたので、そういったイベントではもう少し時間を区切って参加できる人数を増やすだとか、可能な範囲での工夫があると多くの子どもたちが嬉しいのではないかと思った。規則が大事なものは十分承知しているが、争奪戦になってしまうと、仕事をしている保護者の方は申し込み自体できなかつたり、また、幼稚園のバスの時間と申し込みの時間がかぶって急いで行ったけれども

締め切りだったということが私自身あったので、ちょっと考えて頂けたら大変助かるなと思った。

- ・その他、大人の塗り絵なんてステキだなあ！と思ったし、中高生に対しても少ないながらもとても親しみやすい催し物があったので、コロナ禍で出掛けたりできない等ストレスのリフレッシュの場になればいいなと思った。工作の動画を載せたり工作キットの配布など、今の時代に合う取り組みが今回も見られ、先生方にとって準備の多さ等を考えると容易ではないであろうが、子どもたちの生活を豊かにできるかと取り組んでくださっていて本当に有り難い。
- ・それぞれの施設で、対象年齢イベントに対しての来館者がいて、狙いを定めた集客ができてきている様子。ただし、数だけで見ればイベントの数に比例して来館の世代が増減しているの、少ない世代を取り組む策が今後あっても良いと思う。

【事務局】

- ・事業の周知については、コロナ禍で人数制限をしていることもあって周知を限定していたが、今後人数制限が緩和されれば、市内の学校や公共施設等にポスターを掲示したり、三郷市配信メール等により、広く周知していく。
また、あわせて実施の際にアンケートをとり、どのような経緯で事業を知ったのかをリサーチし、事業内容や周知方法について改善していく。
- ・「Kita★café」等の中高生の事業に関しては、児童館という地域性を活かし、かつて利用していた児童を始め、将来的に市内中学校や高校と連携した事業により、交流を深め、利用者の増加につなげていく。
- ・移動児童館については、市内の児童館がない地域で行うことにより、児童の健全育成や子育て支援の充実を図ることが目的のため、これからも児童館が設置されていない三郷中央地区等で開催していきたい。
- ・南児童センターのお化け屋敷については、楽しみにしていた児童が多いことから、2年ぶりの実施に向け、開催方法の検討をしてきた。新型コロナウイルスの感染リスクを軽減するため、滞在時間を短くしたり、人数制限等により、実施することができたが、参加方法等について、意見を参考に今後進めていきたい。

3. 令和4年度事業計画書（案）について

【表決】 承認：13 反対：0

【ご意見等】

- ・今年度は市制50周年でのイベント企画が行われる事にたくさんの方々が参加されることを期待している。また、スポーツ系の事業で子ども達が体を動かせる場がひとつでも中止にならずに実施できる様に検討してほしいと思う。
- ・令和4年度は市制50周年記念の年ということで、それに関連した事業がいくつか計画されていて楽しみだ。
コロナの終息も見えない中での計画で、いろいろ大変かと思うが、対策を行いながらの開催が出来ることを願っている。
- ・時間や人数を区切ったり、代替案で行う予定などを計画しているので楽しみだ。どの児童館でも三郷市50周年のイベントを予定しているので、折角の記念の年として上手く告知などが出来て、たくさんの方に参加してもらえるといいと思う。北児童館、早稲田児童センターで予定されている新1年生向けの事業は、初めて子どもだけで行ける事業なので、企画してもらえて嬉しい。（実際、子どもが新1年生になるので、尚嬉しい）
- ・三郷市の市制50周年記念行事を企画とあったが、子どもたちにとって、生まれ育った三郷市の歴史や文化を知るきっかけとなり、より一層「三郷」を好きになれる企画を期待している。
- ・私が利用している早稲田児童センターに関して、4月からすくすくリズムや、ちびっこばあてい（ミニ）が復活予定との事で、とても嬉しく思う。

- 親子で楽しく体を動かしたり、簡単な調理でおやつを食べる事は私も体験していてとても楽しかった行事なので、ぜひ実施してほしいと思う。
- ・R4年度は市制施行50周年でもあり、様々な企画が盛り込まれていて良いと思う。個人的には、中高生の居場所があることがとても良いと思う。ぜひ小学生のうちから児童館の楽しさや存在を伝えていきたいと思う。
 - ・各児童館、今までの経験、反省点などを活かしての計画だと思うので、今年度はできるだけ多く実施できることを期待したい。参加者が少ない事業の曜日を変更する工夫（ほかの事業がある曜日と合わせる）で、増えると期待できる。
（例えば私がお手伝いさせていただいている南児童センターの子育て育児サロン「すくすく」水⇒金）
コロナが終息するまでは、年々工夫を積み重ねつつ、対面、Webのハイブリッドで少しでも周知されて利用が増えることを期待したい。
 - ・季節のイベントや子どもまつりが無事に開催できることを願うばかりだ。高学年の子ども達がお手伝い等でイベントの参加機会が増えれば、中高生が利用することに繋がっていくのかなと思った。
 - ・移動児童館の文字が目立ったかなという印象だが、長期休みの特別なイベント、新一年生に対する歓迎イベント、昨年度中止になってしまったお祭りのイベントなど楽しみに思えるものが沢山あった。私自身コロナ禍で児童館に行きたいけれども行く機会が減っているが、久々に行けば名前を呼んで暖かく迎えて下さる先生方・楽しい催し物・楽しい時間が待っているので、また遊びに行きたいと思う。
 - ・中高生の企画にとっても関心がある。どの目線に対応するかで、次につながる様になるのか、中高生が楽しんでもらえるのかとても楽しみだ。市外の地域施設は、屋外でみんなで集まれる場所の提供、よびかけをして集まった人で何をして遊ぶか考えて実行するみたいなグループワークのような企画があって、とても良いと思い、三郷でもできるといいと思った。

【事務局】

- ・スポーツ系の事業については、身体的接触が伴わない内容で実施を予定していたが、中止になってしまったものがあった。児童の五感を伸ばす事業として重要であるため、感染状況を見ながら、工夫して実施を検討していく。
- ・早稲田児童センターの「ちびっこぱあてい」については、幼児を対象とした誕生会であり、食事を伴う内容であったため、「ミニちびっこぱあてい」という名前をつけ、感染状況を見ながら食事以外の内容を視野に入れて、実施を検討していく。
- ・事業の実施日(曜日の変更等)については、利用制限の緩和と合わせ、検討していく。
- ・小学生が、事業でボランティアや実行委員などにかかわるなど、イベントの参加機会を増やすことで、中高生の利用につなげていくことも重要であると考えているが、中高生の利用については、開館時間に来られないことも1つの要因であると思われるので、毎月1・2回定期的に開館時間を延長することも有用であると考えている。将来的に市内の中学校や高校と連携した事業を行うことで交流を深め、利用者の増加につなげていきたい。

4. 令和3年度前期モニタリング評価報告書について

【表決】 承認：13 反対：0

【ご意見等】 なし

【事務局】 なし

5. その他

- ・紙面会議となり顔合わせが出来ないのが残念だ。その中で資料作成などは、ありがたい。子ども達が集まる場所をなくさない様に私達で出来る事を考えていけたらと思う。
- ・オンライン事業などの配信で参加できる事業は、コロナ感染の心配がなく気楽に参加できるので、とても良いと思った。
- ・早稲田児童センターを主に利用するので、他の児童センターは分からないのだが、外で遊べるものの貸し出しや体育館で遊べるものの貸し出しが少ないのが残念だ。とび箱や竹馬など、家庭ではなかなか触れられないものもあるので、また遊べるようになると嬉しい。
- ・いつも皆が楽しめるように工夫してくださり、ありがたい。そのおかげで安心して遊ぶことができる。
- ・令和4年度も引き続き感染予防対策を取り、全ての事業が安全安心に行えるように願っている。
- ・私の子どもは2人とも小学生となる為、小学生を対象とした制作イベントなどは一緒に参加できるので楽しみにしている。個人的には編み物体験などがあると嬉しいと思う。今後も安心安全な場所として利用させて頂きたい。
- ・南児童センターは遊具は使用できないとしても、外に庭があるので天気の良い日など館内の事業参加の前後で交流の場となっても良いと思う。
- ・今回も紙面会議ということだったが、前回同様、自分の都合に合わせて対応できる所はありがたいと思った。少しづつでも、この状況が改善されていくてくれたらと願う。
- ・小学生はもちろん、小さな子どもたち(特に運動量の増える2歳前後)がたくさん児童館に来ていることが確認できた。お家ではできない工作遊び、同年齢同士または保護者同士の交流、日替わり月替わりの事業内容、子ども・親と共に飽きさせず楽しく過ごせるように工夫がみられることがとても素敵だと思った。また、昨年度南児童センターの親子広場に参加できたが、終わった後すぐに退館の時間になってしまうので、ようやく打ち解けてきたかな？という子どもたちも遊ぶことができず残念だった。しかし、開始時間も早めると大変であり難しいのは承知しているが、どうにかお友達ができたらいいなと思っている。
- ・感染対策をしながらイベント企画など本当にご苦労様。来年度もよろしく願いたい。

【事務局】

- ・外での遊具の貸し出しについては、各児童館の状況により、コロナ前は外で一輪車や竹馬、砂場道具、室内ではボールやバトミントンなどを貸し出していたが、コロナのため貸し出しを控えていた。今後は感染状況を見ながら、貸し出しができるものを増やしていけるよう検討していく。
- ・南児童センターだけではなく、各児童館でコロナ前はお昼休みを開館し、室内で昼食が食べられるように「ランチタイム」の時間を設定し、交流の時間を設けていた。現在のところ、館内外での飲食を伴う交流については難しいが、外のベンチを利用するなどして、親子間の交流の場を提供していく。